

しのめ

発行 ● 鳥取県立鳥取東高等学校同窓会 東雲会

鳥取県鳥取市立川町5-210 〒680-0061

TEL 0857-22-8495

FAX 0857-22-8497

Eメール torie-h@mailk.torikyo.ed.jp

出版 ● 株式会社 サラト

兵庫県姫路市北条宮の町172 〒670-0948

TEL 079-284-1380

FAX 079-224-7746

題字 柴山抱海氏（特別会員）



第5回全国高校生書道パフォーマンス甲子園 優勝（愛媛県四国中央市・川之江体育館）平成24.7.29
中央の文字は「飛翔」

「同窓会とは」



鳥取東高等学校同窓会東雲会

会長 八村 輝夫（山7）

同窓会入会式の時には何時も「いったい同窓会とは何だろう」と考えます。同じ学校で学び遊んだ仲間の親睦会だといってしまえばそれだけのことですが、その会が学校始まって以来ずっと先輩後輩の関係を維持したままで続いていくのは、単に親睦会だけのことではないと思われるのです。会社にもOB会がありますが、OB会と同窓会では出席した時の雰囲気の違いがあります。同窓会は直ぐ気楽で打ち解けた雰囲気になるのに、OB会は違うと感じます。会社には先輩後輩の関係と共に課長や係長といった肩書きの違いもあるのでしょうし、あるいは働いたセクションにより仲間意識の違いが出てくるのだろうとも思います。同窓会が多感で夢多き時代の仲間ということが大きくその性格作りに影響しているのでしょう。卒業と同時に始ど入会の意識も無く入会してしまっって続いていく同窓会とは一体なんでしょうか。

二中時代は進学してきたのは選ばれたエリートでした。今は殆どの中学生が進学します。今では人数も増えていますし、男女共に大学進学が多くなり、五十%以上

が進学します。学年の一体感が薄れるのもしかたがありません。このことが卒業生の中に同窓会意識が薄れてきていることと関係があると考えられます。学校に対し、仲間に対して考え方の違いがあり、意識が真に多様化していることは間違いありません。同窓会の存在価値が小さくなるのも仕方が無いといえます。しかし、創立以来九十余年、進取の精神で自由闊達を旨とした鳥取東高の教育を受けた仲間として、東高教育を誇りに思い、高校生活を楽しんだ思いは一緒にです。母校が学業、部活、社会貢献などで目覚ましい成績を上げることが応援したいという気持を強め、同窓会の一体感を高める一つの要因だと思えますが、一体感を醸成し、もっと親密感を持つてもらえる同窓会の意義を高める方法は、まだまだあると思います。色々工夫をして施策を実行していきたいと考えています。今年同窓会の歴史を特集しました。皆さんも読んで頂いて何かいい考えがあったら是非ご教示下さい。

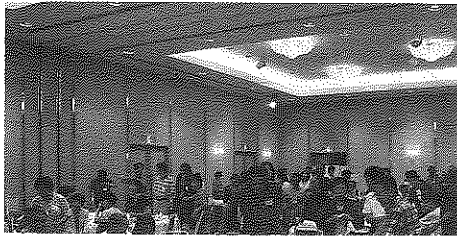
我ら同期生

卒業40周年記念

同窓会の報告

福田昭人（山23）

昭和47年卒業生（山脈23回）は、昨年の8月12日、卒業40周年記念同窓会を行いましたので報告します。当日は、5人の恩師の先生方にも元氣な姿を見せていただき、133人の仲間が集まりました。還暦を目前にした私達ですが、この時ばかりは、40年前にタイムスリップし楽しい時間を過ごしました。毎回やってきたゲーム・アトラクションはやめて、ただただ飲んで語る2時間でしたが、短かったようで、みんな2次会へと流れて行きまし



た。年齢を忘れて、翌日帰宅した人が多かったようです。20周年記念同窓会以来、5年周期で行ってまいりましたので、先輩から引き継いだ

伝統の同窓会も、40周年記念が一つの区切りと考えておりましたが、5年後の開催を熱望する声が多く、幹事の皆さんと困惑しております。山脈23回では、ホームページを設置しておりますのでご覧下さい。
www.ncn-net/higashi23/contents.htm（山脈23回）

山脈28期同窓会報告

世話人 前川章二（山28）

平成24年8月14日、山脈28期の「卒業35周年記念同窓会」を開催しました。卒業20周年記念の同窓会を開催して以来、5年おきに盛大に開催してきた山脈28期ですが、今回は諸事情により準備に取り掛かったのが6月中旬という、何とも凄まじい緊急スケジュールでの開催となりました。



東高山脈28期 卒業35周年同窓会 平成24年8月14日 於 白兔会館

2ヶ月後のお盆：何人くらい集まってくれるだろう……。そんな心配をしながらの開催でしたが、そこはそれ……。鳥東高PTA会長を3期連続で輩出し「東高を愛する気持ちはどこにも負けんでえ」と自負する山脈28期ですから……。各クラス幹事さんの手際よい段取りによって準備は整い、しかも急な開催にもかかわらず、6名の恩師を迎えて総勢90名超の参加を得ました。さすがです……。さすがは我が母校……。

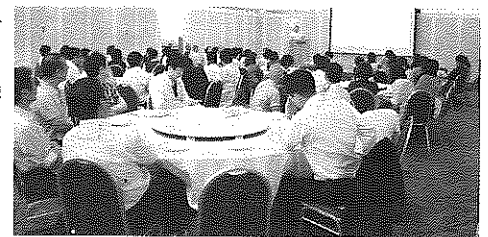
当日は、開会と同時に35年前にタイムスリップ！ハゲていようがメタボであろうが一切関係なし！気分は一気に鳥東生です！男女入り乱れての記念撮影や、同じテールブル内での近況報告、さらには昔の電話の大暴露等、あつという間に2時間が過ぎてゆきました。次回は還暦となる年に……。そう約束し、楽しかった会場をあとにしました。

三十周年同窓会

山脈三十三代表幹事

中江一雄（山33）

なんとなく気恥ずかしく、なんとなく不安げな顔が、嬉しそうな笑顔になっていく様子を、今回もたくさん目にしました。二十周年同窓会の時に味わった不思議なつながりの感覚に魅せられて、5年毎に開催しています。学年全体の同窓会で集まるのであれば、普段連絡の取り合えていない懐かしい顔に出会える嬉しさを少しでも多



く感じてもらえたらなあと思画しています。百名の会となりましたが、幹事のお世話をした二次会にも八十名の参加があり、早く過ぎていく時間を惜し

みつ過ごしました。

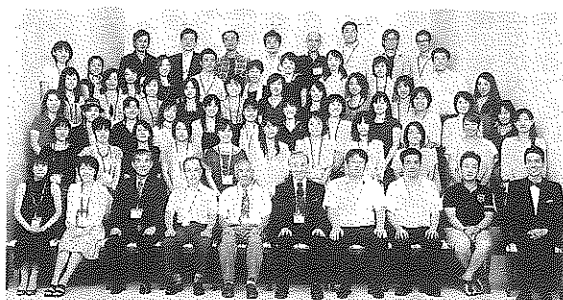
上原康嗣先生、倉恒貞夫先生、白岩武士先生、田中昭文先生にもご出席いただきました。あの頃のこととともに現在のご活動などについても楽しくお話しいただき、とてもありがたかったです。

開会前の記念写真は同窓生の井上写真館。同学年の仲間の撮影ということ、とっても和やかな雰囲気の中でのパシャでした。閉会直前に届いた記念写真の出来上がりは照れくさくながめつつ、前に映し出した歌詞を見ながら、みなで校歌を歌いました。二〇一二年八月十二日（日）、ホテルニューオータニ鳥取「鳳凰の間」にての集いでした。

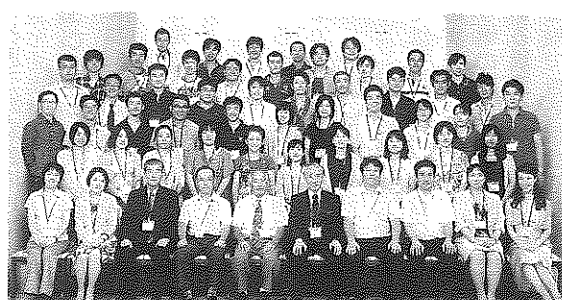
卒業二十周年記念同窓会

中尾智子（山43）

八月十三日、ホテルニューオータニ鳥取にて、山脈四三期生、卒業二十周年記念同窓会を開催いた



鳥取県立鳥取東高等学校平成4年卒業（山脈43回）20周年記念同窓会 平成24年8月13日 於 ホテルニューオータニ鳥取



鳥取県立鳥取東高等学校平成4年卒業（山脈43回）20周年記念同窓会 平成24年8月13日 於 ホテルニューオータニ鳥取

しました。ご多忙のところ、私達のために、六名の先生方がお時間を割いてくださり、総勢一八名が一室に会し、盛大に開催することができました。多くの方が早くから来場し、受